

# しゃきよう 第10号

発行 社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

令和2年8月25日

## 《法人理念》

『より良い暮らしを実現するパートナーとして 地域に求められる社協を目指します』

【 令和2年度 当初予算額 4億3,032万6千円 】

令和2年度、和泊町社会福祉協議会では、地域に求められる社会福祉協議会を目指して次の事業を計画しました。

1. 適正な法人運営と基盤の強化・・社協組織体制と財政基盤の充実・強化等
2. 地域に求められる社協活動の推進・・町地域福祉計画に基づき、住み慣れた地域で住民誰もが安心して暮らすことができるまちの実現を目指した地域福祉活動計画の策定 等
3. 地域福祉活動の推進・・高齢者や障害者などの見守りネットワークの推進等
4. 在宅福祉の充実強化・・介護保険事業及び障害福祉サービス事業等の充実
5. 安心・夢・ゆとりある子育て支援の推進・・わどまり保育園運営・子ども療育センター運営事業の充実

これらの事業を役職員一体となって推進して参りますので、町民の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和2年8月25日

社会福祉法人和泊町社会福祉協議会会長 前 幸貴

## 《役員等の変更について》

令和2年8月1日現在（敬称略）

	新	旧	備考
理事（役員）	先山安孝	田代吉信	区長会代表
評議員	本部忠孝	玉里和明	民児協代表
第三者委員	上別府勁	中屋吉右	福祉行政経験者

## 寄付金及び社協会費のお礼

＜令和元年度実績＞ ◆寄付金総額 1,250,000円（45件）  
◆社協会費総額 1,053,600円（2,634世帯）

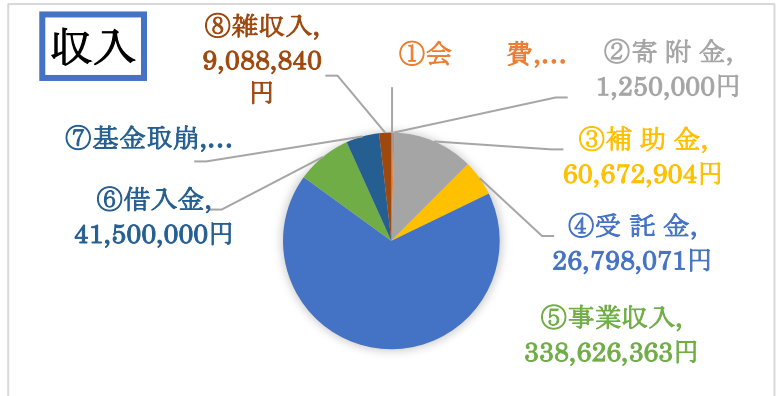
本会へ寄せられた寄付金及び社協会費につきましては、地域福祉に関すること、高齢者・障害者・児童福祉など、地域の皆さまが安心して安全に暮らせるまちづくりへの取り組み（シニアはつらつ教室・生活支援サービス事業あぐネット など）に充てられています。

令和2年度事業計画に基づき、町民の福祉向上に努めます。

# 平成31年度（令和元年度）社会福祉法人和泊町社会福祉協議会収支決算の状況について

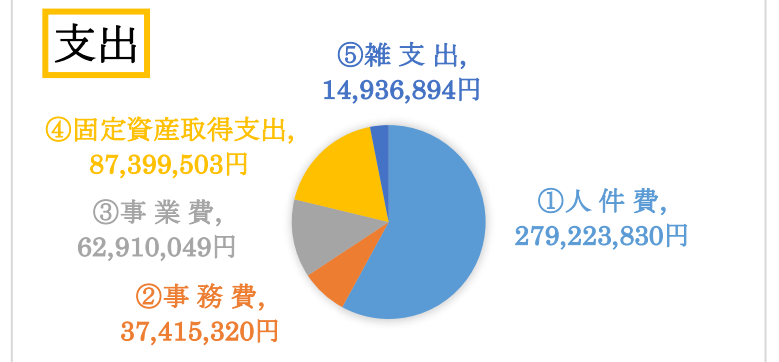
〔収入合計：503,989,778円〕

①会費	1,053,600円 (2,634世帯)
②寄附金	1,250,000円
③補助金	60,672,904円
④受託金	26,798,071円
⑤事業収入	338,626,363円
⑥借入金	41,500,000円
⑦基金取崩	25,000,000円
⑧雑収入	9,088,840円



〔支出合計：481,885,596円〕

①人件費	279,223,830円
②事務費	37,415,320円
③事業費	62,910,049円
④固定資産取得支出 (※土地・建物・車両 など)	87,399,503円
⑤雑支出	14,936,894円



## 和泊町共同募金委員会

### ◆会費実績

【令和元年度】募金額合計 1,435,851円  
 【令和2年度】目標額 1,550,000円

### ◆配分金事業

配分金 1,072,904円

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金に対する町民の皆さまのご理解を深めながら、募金活動に努めるとともに、配分金を地域福祉の推進、地域の福祉活動や各種団体に助成・還元し、有効に活用しています。



街頭募金の様子

## 日本赤十字社鹿児島県支部 和泊町分区



### ◆会費実績

【令和元年度】合計 943,300円 (達成率 98%)  
 【令和2年度】合計 964,600円 (達成率101%) ※7月31日時点

### ◆日本赤十字社奉仕団研修会の中止について

本町においては、地域女性連絡会の皆さまに奉仕団員として協力をいただき、今年度、県支部より講師を招き研修会の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。

### ◆『令和2年7月豪雨災害義援金』の受付について

令和2年7月の日本各地において豪雨による土砂崩れや河川の氾濫に伴う家屋への浸水被害が発生いたしました。日本赤十字社では、多くの被災者と被災された地域（熊本・大分・岐阜・福岡・鹿児島の被災県）への救援活動及び被災者を支援するために、社会福祉協議会事務局窓口及び各金融機関において、義援金を受け付けております。

＜受付金融機関＞ 鹿児島銀行 ・ 郵便局

※振込手数料免除（鹿児島銀行窓口取扱のみ）

## 【地域福祉課】

### ＜福祉サービス利用支援事業＞

契約者数 47名（6月30日 現在）



高齢や障害などで自らの判断能力に不安のある方で、福祉サービス利用の手続きや日常の金銭管理にお困りの方を対象にお手伝いをします。

あなたの周りに以下のような場面で、困っている方はいませんか？

- 福祉のサービスを受けたいけれど、どうしたら良いかわからない
- 新聞代やガス代などの支払いやお金の出し入れでいつも迷ってしまう
- 受け取ったお金を計画的に使えない
- 通帳や印鑑を無くしてしまって、困っている
- いろいろ書類が来るけど、よく分からない

### ＜地域の見守り活動＞

地域に暮らす、一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障害者世帯、その他気になる方を対象に、支え合い推進員（各字民生委員）が中心となり、見守りサポーターの方々が見守り活動を実施しています。

「より地域ぐるみの活動に！」を合言葉に、安心して安全に生活できるまちづくりにご協力ください。



支え合い会議の様子

◆令和元年度  
見守り対象者数 298名  
見守りサポーター 129名

◆令和2年度  
見守り対象者 255名  
見守りサポーター 119名

こんな時は私たちにご相談ください。

### 【介護保険】

- 介護保険について知りたい
- 歩いて出かけることができないので、車いすを借りたい
- 腰が痛くて、買い物や掃除ができない
- 廊下やトイレに手すりを付けたい
- 外に出るのがおっくうで、家に閉じこもっている

### 【障害福祉】

- 障害者手帳持っているけど、使えるサービスを知りたい
- 視覚障害があるので、一人で外出できない
- 同じ障害を持つ人との交流を持ちたい
- 働いたことはあるが、年齢や体力的に一般就労ができない
- 子どもの様子や発達が気になる

在宅で介護が必要な方や障害をお持ちの方が介護や障害のサービスを利用できるよう、介護支援専門員や障害相談支援員がサービス利用の相談や申請手続きのサポート、サービス利用計画作成を行います。各種相談・手続きには費用は発生しません。

【居宅介護支援事業所・

特定・障害児相談支援事業所】



# 小規模多機能ホーム

小規模多機能ホーム

ぐすく

# ぐすく

## 事業所理念

地域に根ざした多機能事業所として『生涯在宅』を実現できる事業所を目指します。

365日 24時間

だから一人暮らしの方や島外の家族も安心!!

このたび多くの関係者のご協力を頂き令和2年3月23日に  
“小規模多機能ホーム ぐすく”をオープンする事ができました。  
和泊町初の小規模多機能ホームということもあり『一』からの立ち上げで戸惑うことも多かったですが無事にオープンでき社協役職員一同うれしく感じています☺  
まだまだ戸惑うことも多いですが、利用者やご家族・地域の方など皆様に愛され笑顔あふれる“ぐすく”を目指したいと思います!!  
ぜひ一度、ご見学・ご相談にお越しください。  
皆様の慰問など大歓迎です!!よろしく申し上げます(^\_^)  
『自宅や地域で、いつまでも暮らしたい』を全力でサポートいたします。

オープニングセレモニーの様子



朝の集団体操の様子



夜は宿泊者でカラオケ



毎日みんなで筋力作り



日当たり抜群の個室



介護度	利用者負担額	その他の利用料
要支援 1	3,418	○宿泊費：500円/日 ○食費：朝食（300円） 昼・夕食（各350円） ○洗濯代：100円/回 ○その他、おむつ代等は、実費です。
要支援 2	6,908	
要介護 1	10,364	
要介護 2	15,232	
要介護 3	22,157	
要介護 4	24,454	
要介護 5	26,964	

- 登録定員：25名 ◆「通い」定員15名 ◆「宿泊」定員9名
- 登録条件：原則、町内在住者とし、城ヶ丘中学校区在住者を優先する。
- 選定方法：①認知機能が低下傾向にある独居高齢者。  
②老老介護等の家族介護者の介護負担の大きい高齢者。

## 【障害者就労支援施設さねん】

島内外の多くの皆さまから、園芸や紙すき、木工製品やエコバック等のご注文、「ご購入をいただいております。園芸では自施設をはじめ、両町の直売所・商店での販売や、和泊町の各字自給野菜の注文・配布。木工では看板製作や可動式ベンチ、郵便ポストなど多くのご注文をお受けしており、皆様よりご好評いただいております。

【利用者の個性と和を大切にした活動で生産性を高め、社会的自立に向けて支援を行う事業所を目指します】を事業所理念として、今後も利用者と地域に寄り添い、より多くの皆さまに『さねん』を知っていただけるよう頑張っていく予定です。

木工作業中の

宮内勝氏



障害者スポーツ教室に

参加した様子



『親子のつどい』



## 【子ども療育センターのびのび】

みんなの色で大きな虹を♪

事業所理念を基に、子どもの様子に合わせて、個別に支援計画を立てて活動しています。

また、保護者やこども園、学校等関係機関とも連携を取り、子ども達の日常生活の更なる充実に向けたサポート体制づくりも行っています。

そして毎年八月には『親子のつどい』として、異年齢メンバー同士の交流と保護者の情報交換の場を設けています。今年度も子ども達の「できた！もっとしたい！」という、達成感や活動意欲を引き出せるよう、活動を計画していきます。

## 【通所介護事業所・地域活動支援センター・生活介護事業所・ていだぬ花】

1年を締めくくる忘年会とクリスマスパーティーを3日間行い、利用者が主役となってステージで歌や踊り、楽器を使った全員合奏等を行い、最後には大抽選大会で盛り上がり1年を締めくくりました。

○令和2年度の計画及び目標について

現在、新型コロナウイルス感染予防の為、運動会などの行事を自粛しています。終息の見通しがつくまでは行事としてではなく、レクリエーション活動の一環として利用者に楽しんでいただけるよう、サービスの提供に努めています。

また、ていだぬ花では、年間を通して、おやつ作りや歴史

民俗資料館見学、屋外活動等を取り入れ、認知機能及び心身機能の活性化に取り組んでいます。



合同忘年会での様子

## 【訪問介護事業所】



調理実習の様子

令和二年一月二三・二四日の二日間に渡り大島地区の『社協訪問介護事業所研修会』が行われました。

今回は和泊町での開催となり、奄美市喜界町・瀬戸内町・宇検村・知名町からの参加がありました。

意見交流会では、さまざまな事例をあげ、各事業所の対応や提案をもらうなど活発な意見交換の場となりました。

二日目は、知名町の清水静香氏を講師にお招きし、生活習慣病予防食事管理について栄養指導や調理実習を行いました。

訪問介護員の支援として調理支援の要望も多く、今回学んだ調理方法を取り組み、利用者の生活の一部である『食事』の時間が楽しみの時間になるよう、今後の支援に活かしていきたいと思えます。

## 【わどまり保育園】

保育理念 ～瞳で感じる保育園～

わ

らいあい

ど

んなときも

ま

あるいところで

り

かいする

家庭的な温かい雰囲気の中で、0歳児～5歳児の子ども達が日々楽しく園生活を送っています。日々の保育の中で、子ども達の成長を感じる事ができ、社協が運営する保育園として、高齢者の方や障害のある方との触れ合いを大切にすることで、優しい心を育み地域に根差した保育に取り組んでいます。

今年度も、子ども達一人ひとりに寄り添い、子どもの発達に対する理解を深め、安心して園生活が送れるよう職員一同、力を合わせていきたいと思えます。



寝ているすきに・・・ちゅっ(\*´ 3´)



おいしいお給食タイム(^\_^)



「夏季保育のおたのしみ」おまつりごっこ🍡



新しい遊具を「ゆりのふるさと基金」から頂きました🌟

## 《 沖永良部くらし・しごとサポートセンター 》

生活全般の困りごとの『なんでも』相談窓口です。住民誰もがその人らしく地域で安心して暮らすことができるよう、課題の解決に向けて一緒に考え、それぞれの生活改善や就労支援計画を立てて、継続的に支援を行います。

《お問い合わせ》

沖永良部くらし・しごとサポートセンター（92-2299）までお気軽にご連絡下さい！

窓口相談：月～土 8：30～17：30 電話相談：年中無休（24時間対応）

### 物品のご寄贈に伴うお礼

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活が制限される厳しい状況の中で、感染予防物品やお土産用菓子をご寄贈いただき、誠にありがとうございました。

今後も、本会が運営する各事業所の継続的かつ安心・安全なサービスの提供に資するとともに、ご寄贈いただいた物品につきましても大切かつ有効に使用させていただきます。

- R I C マート和泊店様より  
手指消毒液、サージカルマスク



●One-or-Eight 合同会社様より  
フェイスシールド T ガード



●(有) TOYO 商事部様より  
お土産用菓子

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

## ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類	プラン	基本プラン	充実報酬プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	X	O	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

団体割引(20%適用済)・過去の損害率による割引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただけますと、安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushinoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品/イベントは  
コチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引渡料等〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

補償ジャパン日本興亜は、関係当局の認可を得て、2020年4月1日に高料率変更し、「補償ジャパン」に改名。

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJKK19-12918 2020.2.10現在)

## 社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

〒891-9112

鹿児島県大島郡和泊町和泊39-3 和泊町社会福祉センター内

◆事務局 ◆管理課 ◆通所介護事業所 ◆地域活動支援センター

◆認知症対応型通所介護事業所 いたぬ花 ◆基準該当生活介護事業所

電話：0997-92-2299 / FAX：0997-81-4114

mail：wa-syakyo@po4.synapse.ne.jp

- ◆地域福祉課 電話：92-0877 / FAX：92-3545
- ◆居宅介護支援・相談支援 電話：92-3548 / FAX：92-3545
- ◆訪問介護・居宅介護 電話：92-0511 / FAX：92-3545
- ◆小規模多機能ホームぐすく 電話：85-1885 / FAX：85-1886
- ◆障害者就労支援施設さねん 電話：92-3546 (FAX兼用)
- ◆わどまり保育園 電話：92-1325 / FAX：92-1351
- ◆子ども療育センターのびのび 電話：92-1850 (FAX兼用)

ホームページ <http://wasyakyo.jimdo.com>